

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



金メダリスト上野選手がやってきた (11月29日 神原スポーツ公園)

北京オリンピックで女子ソフトボールチームのエースとして金メダル獲得に貢献した「ルネサス高崎」(群馬県)の上野由岐子選手、同チームの宇津木妙子総監督、宇津木麗華監督を講師に迎え、「ソフトボールフォーラム 2008in たかはし」(財)日本ソフトボール協会・中国ソフトボール協会主催)が開催されました。

市内外から集まった300人を超える小中高生らは目を輝かせながら、上野選手らの指導を受けました。

豊かな想像力を (11月22日 総合文化会館)

ジャーナリストの江川紹子さんを招き、「人権啓発講演会」(市・教育委員会等主催)が開かれました。江川さんは「私の取材ノートから～人権の尊さを考える～」と題して講演。「豊かな想像力をはぐくむことが大事。それは人権の基本」と自身の取材を通じた体験から人権の大切さを語りました。



山城を生き、まちづくりを (11月29日 高梁学園 国際交流会館)

「日本三大山城サミット in 高梁」(同実行委員会主催)が行われました。このサミットは、日本の三大山城とされる備中松山城、美濃岩村城(岐阜県恵那市)、大和高取城(奈良県高取町)のある3市町が平成11年から持ち回りで開いているもので、今回で8回目。各市町の取り組みの事例発表のほか、遠州茶道宗家・小堀宗慶さんの「備中松山と小堀遠州」と題した記念講演もあり、最後にサミット宣言を採択しました。

校舎に響くハーモニー (12月7日 吹屋小学校)

安心安全の意識啓発と地域の活性化を目的に、県警察音楽隊によるふれあいコンサート(吹屋新生会ほか主催)が開かれました。行進曲から歌謡曲、アニメの主題歌まで幅広いジャンルの楽曲が演奏され、訪れた家族連れらは、校舎の三間廊下に響くハーモニーに聴き入っていました。



100歳おめでとうございます (11月25日 自宅<川上町高山>)

11月23日に100歳(明治41年生まれ)の誕生日を迎えられた小田上壽男さんを市職員らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。今でも元気に過ごされていて、来年のお飾りも自分で作られたということです。

市内で100歳以上の人は12月9日現在で24人(男性5人、女性19人)。





新しい風 うかんから

(11月23日 うかん常山公園)

「風ぐるまフェスタ 2008in うかん」(同実行委員会主催)が行われ、多くの人でにぎわいました。8月に完成した常設舞台“風のステージ”では、友好都市・熊本県山鹿市と高知県四万十町の郷土芸能、市内各地域のグループによる芸能発表や吉備国際大学生のストリートダンスなどが披露され、演歌歌手・田川寿美さんの歌謡ショーもありました。また、日本海から太平洋までの特産品が並ぶ“風ぐるまおもしろ市場”も人気を集めていました。

高梁の歴史を学んで国際交流

(12月6日 備中松山城ほか)

市内の留学生と市民が触れ合う「異文化交流フェスタ2008」(市国際交流協議会主催)が開かれ、備中松山城や頼久寺庭園、吹屋ふるさと村などの歴史遺産巡りを楽しみました。

吉備国際大学の留学生21人は、市民らの説明に熱心に耳を傾け、建物や内部を写真に収めていました。



よき昭和の時代に戻って

(11月29日 ひらかわいこいの家)

昭和30年代の備中町平川地区を描いた鳥瞰図が完成し、その除幕式と昭和ミニイベント(平川郷昭和絵図制作委員会主催)が開かれました。イベントでは当時走っていたボンネットバスに乗って地区内を回ることができ、人気を呼んでいました。また、会場ではめんこ大会や備中神楽の上演、地元住民による飲食のテントもあり、訪れた家族連れらでにぎわっていました。

冬の夜を彩る冬絵ぶた

(12月6日 マンガ絵ぶた公園)



「冬絵ぶたイルミネーション」(備北商工会川上支所主催)の点灯式が行われ、アトラクションとして地元の子どものリズム体操などが披露されました。公園はディズニーキャラクターや来年の干支・丑うしなど11基の冬絵ぶたとイルミネーションで彩られ、お気に入りの冬絵ぶたの前で写真を撮る家族連れらの姿がありました。来年1月15日(木)までの期間、午後5時30分から午後10時30分まで点灯されます。